

農業技術センター普及指導部作物関係情報

タイトル：水稲の生育状況（7月5日現在）について

発信日：2021年7月8日

1 内容

平年値(2011～2020年までの過去10年平均)と比べ、7月5日現在の水稲の生育状況は以下の表1のとおりです。

表1 水稲の生育状況(7月5日現在)

品種	移植時期	草丈	茎数	葉色
はるみ	6月上旬*	同等	多い	やや濃い
	6月中旬**	やや短い	やや多い	同等
キヌヒカリ	6月上旬	やや長い	やや多い	やや濃い
	6月中旬	やや長い	同等	やや濃い
[参考]				
てんこもり***	6月上旬	やや短い	やや多い	やや濃い
	6月中旬	やや短い	やや少ない	同等

*2014～2020年までの過去7年平均との対比 **2015～2020年までの過去6年平均との対比

***2018～2020年までの過去3年平均との対比

- ・出穂期は、現時点の生育と今後の気象予報からほぼ平年並み～やや早いと予想されます。

2 留意事項

(1) 気象

気象庁が7月1日に発表した1か月予報は、気温は「ほぼ平年並み」、降水量は「平年並か多い」、日照時間は「平年並みか少ない」となっています。

(2) 水管理

中干しは、最高分げつ期ごろから5～7日程度水を切り、土壌表面に軽いひび割れができる程度に干します。表2の農業技術センターの平年値を参考にしてください。

無効分げつを抑制するため、茎数が25本前後になったら、中干しをしっかりと行いましょう。

(3) 害虫防除

・イネツトムシ（イチモンジセセリ）【写真1】

イネツトムシの防除適期は、粒剤でふ化最盛日の5日前、その他の薬剤でふ化最盛日から5日後程度です。今年の県内各地のふ化最盛日は、平年並みの7月18～24日の予測です。

県内各地域の予測ふ化最盛日は病虫害防除部のホームページを参照してください(病虫害情報号外第6号)。



イネツトムシ【写真1】

左上;被害状況

右上;卵

左下;成虫

右下;幼虫

・斑点米カメムシ類【写真2】

カメムシ類に吸汁されると玄米に斑点が生じることがあります。カメムシ類は、畦畔等の雑草で増殖するため、除草を徹底することが有効です。ただし、出穂期頃の除草は、カメムシ類を水田に追い込むことになるため、畦畔雑草の除草は出穂10日前までに必ず終わらせましょう。



ホソハリカメムシ【写真2】

・ヒメトビウンカ（縞葉枯病）【写真3、4】

縞葉枯病は、ウイルスを保毒しているヒメトビウンカに吸汁されることで発生します。縞葉枯病が発生している水田ではヒメトビウンカの防除を行います。



ヒメトビウンカ
成虫【写真3】



縞葉枯病【写真4】

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）【写真5～7】

発生地域では周辺への拡大防止のため、水田周辺や水路の貝を捕殺するとともにピンク色の卵（卵塊）は潰しましょう。また、水田内への侵入を防止するため、水口に6～9mm目合いの網を設置します。



スクミリンゴガイ【写真5】



スクミリンゴガイの卵塊【写真6】



網の設置の様子【写真7】

・トビイロウンカ【写真8】

東海以西では、昨年よりも早くトビイロウンカの飛来が確認されています。梅雨明け後に気温が高く降水量が少ない気象条件だと増殖するおそれがあります。特に、ウンカ類に登録のある育苗箱施用剤を使用していない場合は、今後のトビイロウンカ発生状況に注意してください。

(4) 雑草防除

雑草の発生が多い場合は、後期剤を使用上の注意に従って施用します（収穫前日数に注意）。



坪枯れ症状【写真8】

(5) 農作業安全

農作業中の熱中症に注意して下さい。熱中症の予防には日中の気温が高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行いましょう。汗で失われた水分を十分に補給するとともに、帽子の着用や、汗を発散しやすい服装に心がけましょう。

高温多湿の環境下でのマスク着用は熱中症のリスクが高まりやすいです。屋外で人と十分な距離を確保できる場合は、マスクを外しましょう。マスクを着用する場合は、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけ、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的に外して休憩しましょう。

台風などの大雨の際に、水田等の見回りは、大変危険です。気象情報及び周囲の状況を十分に確認し、安全な状況になるまでは行わないようにしましょう。

【参考】

表2 農業技術センター（平塚市）における中干し時期の過去10年平均値

作期	品種名	中干し時期	穂ばらみ期	出穂期
5月27日植	キヌヒカリ	7月7日頃	7月22日～8月6日頃	8月6日*
	さとじまん	7月14日頃	7月29日～8月13日頃	8月13日*
6月7日植	はるみ	7月11日頃	7月26日～8月10日頃	8月10日
	キヌヒカリ	7月10日頃	7月25日～8月9日頃	8月9日
	さとじまん	7月17日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日
	てんこもり	7月16日頃	7月31日～8月15日頃	8月15日**
6月17日植	はるみ	7月17日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日***
	キヌヒカリ	7月16日頃	7月31日～8月15日頃	8月15日
	さとじまん	7月22日頃	8月6日～8月21日頃	8月21日
	てんこもり	7月20日頃	8月3日～8月19日頃	8月19日**

- ・ 穂ばらみ期は、出穂期約15日前～出穂期までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期であるため、水田の水を十分に保つようにする。
- ・ * ; 5月27日植については、2002～2006年（5年平均）のデータに基づく。
** ; てんこもりについては、2017～2020年（4年平均）のデータに基づく。
*** ; 6月17日植えのはるみについては、2011～2012、2015～2020年（8年平均）のデータに基づく。

問合せ先

農業技術センター普及指導部作物加工課

平塚市上吉沢1617

TEL : 0463-58-0333 内線382～384